

TOTO



ハイドロセラ・フロアPUS

AB663S UFS910系 リモデル用(既設排水管流用)
排水心 180~220mm対応

施工説明書

製品の機能が十分発揮される様に、本書の内容にそって正しく取付けてください。

注意

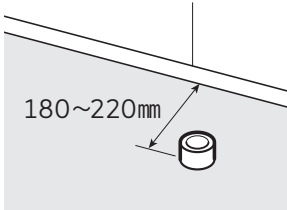
この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、障害又は物的障害が発生する可能性があります。

注意

- PUSの開口部には直接触れない。
- カット面となっており、取扱いの際にケガをする危険があります。フランジ・ソケットは小便器の各種説明書に従って正しく取付けてください。
- 漏水の原因となります。

施工の前に

- 下地の不陸は「ハイドロセラ・フロアPUS」1枚の範囲で2mm以内としてください。
- 「ハイドロセラ・フロアPUS」を設置する床面は付着物がないように清掃し、乾燥させた状態で施工してください。
- 長尺シートや既設タイル張りの上からも施工可能です。
- 壁仕上げ後の排水管の位置が正しいか確かめてください。→排水心180~220mm
- 既存の排水管をそのまま利用することができます。
- TOTO製既設フランジをそのまま利用することができます。(小便器の各種説明書参照)

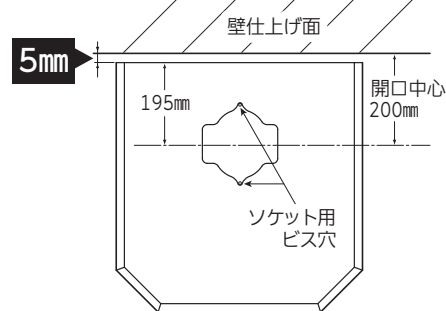


使用工具・材料



Pシールには必ず同送の「専用Pシール」を使用してください。
接着剤には必ず同送の「専用接着剤」を使用してください。

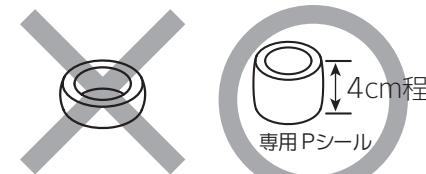
注意



壁との取合いは「5mm」としてください。

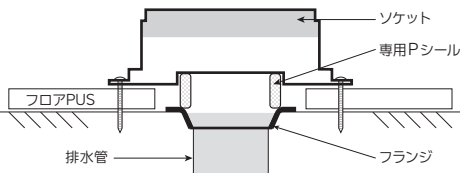
- 「ハイドロセラ・フロアPUS」の開口は、上図のとおり壁との取合いを5mmとすることで中心が200mmになります。
- 取合幅を誤るとビス穴がずれて、ソケットが所定の位置に取付けできない原因となります。
- 一度接着しますと手直しできませんのでご注意ください。

注意



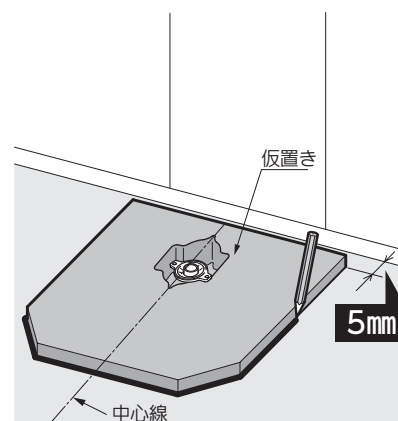
ソケット部に同梱しているPシールは使用しません。使用すると漏水の原因になります。

フロアPUSと排水金具の納まり



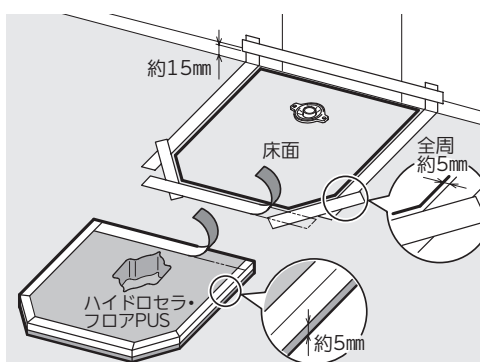
PUSの厚み分のすき間を埋めるため厚い専用Pシールを必ずご使用ください。

1.マーキング



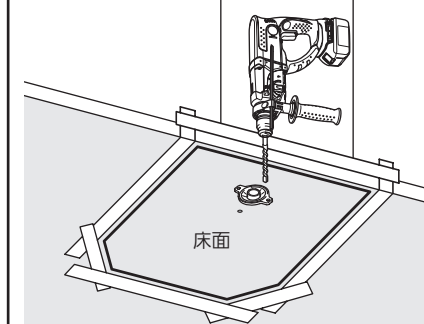
- 排水管と「ハイドロセラ・フロアPUS」の芯を合わせて仮置きする。外形に沿って床面にマーキングする。
- がたつく場合は、アクリルプレートなど(現場手配)で調整してください。

2.マスキングテープ貼り



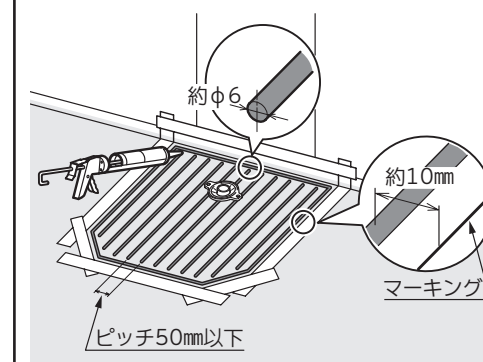
「床面」と「ハイドロセラ・フロアPUS」の両方にマスキングする。

3.下穴あけ



ビス締付け用の下穴は、フロアPUS貼付前にあけてください。貼付後にドリルを使用しますと、フロアPUSが割れる恐れがあります。

4.接着剤塗布



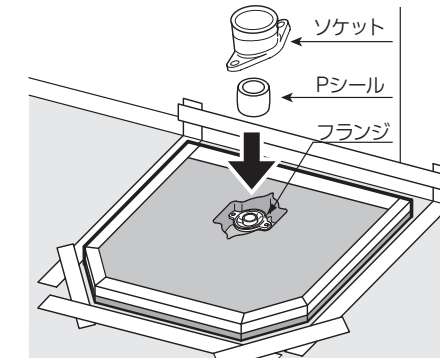
接着剤を床面にコーキングガンで塗る。接着剤は必ず同送している「専用接着剤」を使う。

5.ハイドロセラ・フロアPUS貼付け



- しっかりと圧着する
- 便器設置後に「ハイドロセラ・フロアPUS」が沈み込み、漏水の原因となります。
- 壁との取合いを確認する「5mm」
- ソケットが所定の位置に取付できない原因となります。

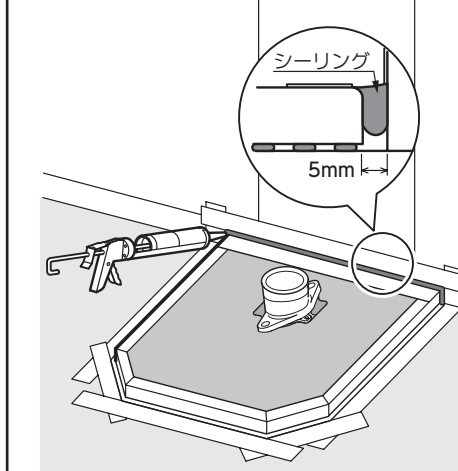
6.ソケット取付け



- Pシールは必ず同送している「専用Pシール」を使う。
- ソケットにがたつきがないことを確認する。

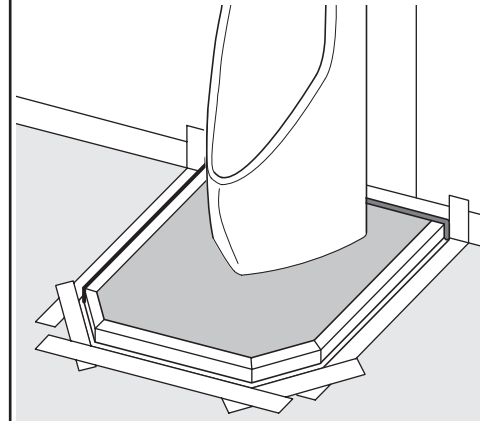
ソケットを床にしっかりと固定する。ビスの締めすぎに注意してください、フロアPUSが割れる恐れがあります。

7.壁との取合シーリング



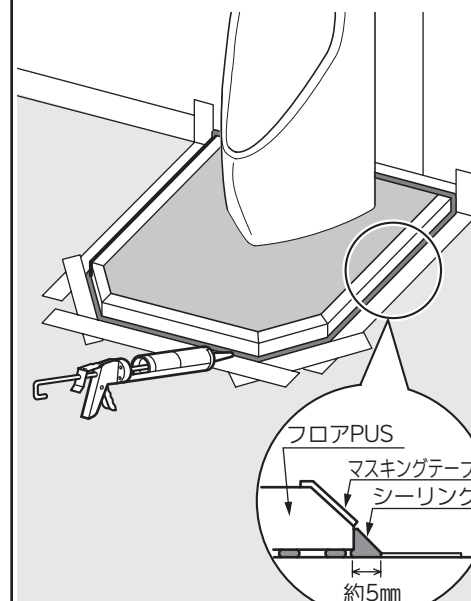
シーリングを塗布した後に、「コーキング用ヘラ」で押さえる。シーリング処理には、同送付属の「専用接着剤」が使用可能です。

8.小便器取付け

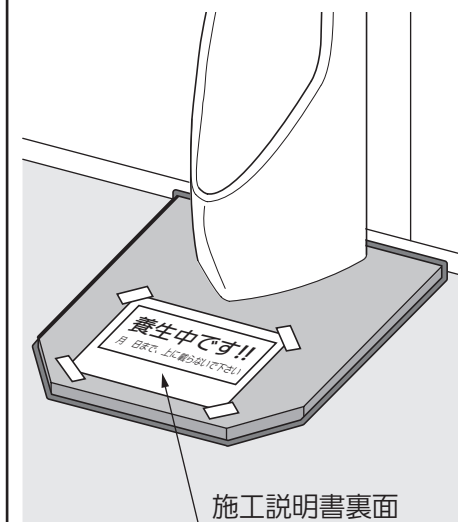


小便器設置の際は割れに注意して、ゆっくりと置いてください。
※床面に排水勾配がついている場合、小便器と「ハイドロセラ・フロアPUS」との間にスキ間が生じる場合があります。白セメントやシーリングなどで処理してください。

9.床との取合シーリング



10.養生



マスキングテープをはがして接着剤が硬化するまで養生する。(目安：夏期1日、冬期2日)

養生中です!!
月 日まで、上に載らないで下さい。

施工店様へ

この紙を施工後、ハイブロセラ・クロアPUS
の上に貼って下さい。

養生日数は夏期1日、冬期2日が目安です。